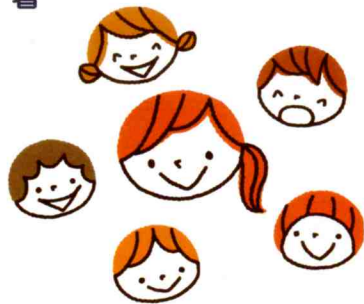




現場の声から
生まれた!

子どもの心を動かす
指導法

白井三根子 著



ナツメ社

はじめに

昭和26年、私は幼稚園に入園しました。当時3歳です。楽しい園生活の思い出があるはずなのに、なぜだか先生に叱られた記憶しかありません。よほどやんちゃで根性が曲がっていたのでしょうか。「また三根子ちゃんなの?」「なんでいつもこうなの?」どうやら私は、先生方の困ったちゃんだったようです。そうなってくると何か事件があるたびに「どうせまた、あなたでしょ?」と私の話も聞いてくれずに、頭ごなしに叱られる一方でした。結構悔しい思いのした幼児期でした。

人生って不思議ですね、こんな私が縁あって保育者になりました。私にはこうした経験があるので、子どもには絶対頭ごなしで叱ることはやめようと誓ってきました。でもクラスはまとまらない・・・どうすればいいのだろうかと、日々試行錯誤



誤の毎日でした。

そんな中まず実践したことは、保育日誌をまめにとることでした。夜読み返して、書いていない子どもがいると次の日には、意識してその子を見るようにしてきました。こうすることで子どもがトラブルなどを起こした時には、何かしらの背景があるということも分かってきました。まず子どもの話に耳を傾けてから、助言するようにもしてきました。

そんな私なりに考えた指導のコツを、1冊にまとめてみました。日々の保育でよくありがちな悩みを、3段階のステップで解決へと導けるようにしてあります。子どもたちが健やかな育ちに向かうためには、大人の手助けが必要です。指導に困った時、本書を開いて参考にして頂けることを願っております。

白井三根子

第1章
並ぶ

45年かけて培ったベテラン保育者指導の技	8
ケース01 1列にさっと並んでほしいとき	12
ケース02 男女別に2列に並ぶとき	14
ケース03 自由に2人組になってほしいとき	16
ケース04 2人で手をつないで、並んで歩くとき	18
ケース05 間隔をあけて列に並んでほしいとき	20
ケース06 グループにさっと分かれてほしいとき	22
ケース07 大きな輪をさっとつくりたいとき	24
ケース08 屋内で集合するとき	26
ケース09 屋外で集合するとき	28
保育に役立つ歌とリトミック	30

第2章
一斉活動で

ケース01 絵本を静かに聞いてほしいとき	32
ケース02 必要なものを用意してほしいとき	34
ケース03 自画像を描くとき	36
ケース04 絵の具を使って絵を描くとき	38
ケース05 造形物の作り方を説明するとき	40
ケース06 折り紙を教えるとき	42
ケース07 散歩の途中で人数確認をするとき	44
ケース08 ガードレールのない道路を、安全に歩いてほしいとき	46
ケース09 新しい遊びのルールを教えるとき	48
ケース10 片付けて次の活動へ移りたいとき	50
ケース11 新しい歌を教えるとき	52
ケース12 当番活動に進んで取り組んでほしいとき	54
ケース13 食事やプールの前にトイレを済ませてほしいとき	56
ケース14 遊びを決めるとき、意見がまとまらない	58
保育に役立つ歌とリトミック	60



第3章

生活習慣

ケース01	食事の準備をするとき	62
ケース02	食事の挨拶の前に静かにしてほしいとき	64
ケース03	食事が終わった子を落ち着けたいとき	66
ケース04	昼寝をしてほしいとき	68
ケース05	着替えをスムーズに終わらせたいとき	70
ケース06	自分のものをロッカーに片付けてほしいとき	72
ケース07	靴を靴箱にそろえて入れてほしいとき	74
ケース08	スリッパをそろえてほしいとき	76
ケース09	外遊びの後や食事の前に手洗いするとき	78
ケース10	うがいをきちんとしてほしいとき	80
ケース11	水分補給を的確にしてほしいとき	82
ケース12	朝の準備をスムーズにしてほしいとき	84
ケース13	昼寝から気持ちよく目覚めてほしいとき	86
ケース14	飼育当番の大切さを教えたいとき	88
	保育に役立つ歌とリトミック	90

第4章

集中する

ケース01	保育者が話しているのに、おしゃべりがやまないとき	94
ケース02	園長先生の話を聞いてほしいとき	96
ケース03	友達の発表を聞くととき	98
ケース04	読み聞かせを静かに聞いてほしいとき	100
ケース05	集合写真をきれいに撮りたいとき	102
ケース06	保育者の話に集中させたいとき	104
ケース07	避難訓練にまじめに取り組んでほしいとき	106
	保育に役立つ歌とリトミック	108



第5章 行事の 場面で

ケース01	運動会のダンスを教えるとき	110
ケース02	きれいに行進させたいとき	112
ケース03	出番を待つ間、緊張をほぐしたいとき	114
ケース04	大きな声で歌を歌ってほしいとき	116
ケース05	発表会の出し物を覚えさせたいとき	118
ケース06	プールでの活動を安全なものにしたい	120
ケース07	誕生会を盛り上げたいとき	122
ケース08	納涼大会にみんなが参加できるようにしたいとき	124
ケース09	遠足でトラブルがないようにしたい	126
ケース10	餅つき大会を安全に行うには	128
ケース11	発表会の役決めをトラブルなく進めたいとき	130
ケース12	作品展の製作が苦手な子も楽しめるようにするには	132
	保育に役立つ歌とリトミック	134

第6章 マナーと 思いやり

ケース01	来客に挨拶してほしいとき	136
ケース02	物をきちんと片付けてほしいとき	138
ケース03	物を大切にしてほしいとき	140
ケース04	並ぶ順番を守ってほしいとき	142
ケース05	返事をしてほしいとき	144
ケース06	途中入園の子をスムーズに迎え入れたい	146
ケース07	配慮が必要な子と関わってほしいとき	148
ケース08	外国の子と仲良くしてほしいとき	150
ケース09	食事のマナーを知らせたいとき	152
ケース10	泣いている子の気持ちに気づいてほしいとき	154
ケース11	おもしろした子を冷やかしてしまったとき	156
ケース12	年下の子との関わりを楽しんでほしいとき	158



キーワードさくいん

あ

安全に歩く……………46
 遊びのルール……………48
 新しい歌……………52
 遊びを決める……………58
 挨拶……………64,136
 朝の準備……………84

い

1列……………12
 1列に並ぶ……………12

う

うがい……………80
 運動会……………110
 歌……………116

え

絵本……………32
 絵の具……………38
 絵を描く……………38
 遠足……………126

お

大きな輪……………24
 屋内で集合……………26
 屋外で集合……………28
 折り紙……………42
 おしゃべり……………94
 おもらし……………156

か

片付け……………50,72,138
 外国の子……………150

き

着替え……………70
 緊張をほぐす……………114
 製作……………132

く

グループに
 分かれる……………22
 靴箱……………74

こ

行進……………112

さ

作品展……………132

し

集合する……………26,28
 自画像を描く……………36
 食事……………56,62,64,66,152
 飼育当番……………88
 集合写真……………102
 順番……………142

す

スリッパ……………76
 水分補給……………82

そ

造形物……………40

た

ダンス……………110
 誕生会……………122

て

手洗い……………78
 出番を待つ……………114

と

当番活動……………54
 トイレ……………56
 途中入園……………146
 年下の子……………158

な

並んで歩く……………18
 泣いている子……………154

に

2列に並ぶ……………14
 人数確認……………44

の

納涼大会……………124

は

話を聞く……………96,104
 発表……………98
 発表会……………118,130
 配慮が必要な子……………148

ひ

昼寝……………68,86
 避難訓練……………106

ふ

2人組……………16
 2人で歩く……………18
 プール……………56,120

へ

返事……………144

も

餅つき大会……………128
 物を大切に……………140

や

役決め……………130

よ

用意する……………34
 読み聞かせ……………100

れ

列に並ぶ……………20

ろ

ロッカー……………72

45年かけて^{つちか}培った

ベテラン保育者 指導の技

「なんでうまく指導できないのだろう」そんな保育者は、
たくさんいるはずですよ。ここでは私が今までやってきた保育のなかで、
うまくいった指導のコツを5つにまとめてみました。
どうぞ明日から実践してみてください。

1

できた→ほめる これぞ指導の基本



私たち大人でも「今の読み聞かせ、声を通して良かったよ」などと言われると嬉しくて、「よーし、明日はもっと頑張ろう」って思いませんか？ 子どもなら、なおさらです。幼児期はできることがどんどん増えていきます。それを認めてもらえ

れば「やった！」嬉しくて、明日からの行動にも自信が付き、やる気も出てきます。もしできなかったとしても、昨日と比べてどうですか？ 少しの頑張り、失敗を反省する気持など持ててたら、それでも十分。そこをほめればいいのです。

どうすればいいか、 具体的に話をする

「ちゃんとして」「そこはダメ」ついつい言ってしまうがちな言葉ですが、これでは子どもには伝わりません。わかっているのは、保育者だけ。子どもを注意する時には、子どもがわかる言葉で具体的に言いましょう。「背中を伸ばして、ひじはつかない」「椅子には靴であがらないよ」こんな風にしてほしいことを、わかりやすく伝えていきましょう。意外と言っている曖昧な注意、ここに注意していくだけでも子どもは格段に変わるはずです。



2

3

みんなで助け合う 集団の力をうまく引き出す



園生活の中で家庭と一番違うことは、集団での行動と友達と関わり合う人間関係ではないでしょうか。子どもをほめようと先ほど言いましたが、もうひとつクラスをほめることも大事なことです。「このクラスはすごいね」これは一人の力ではありません。そこにいるクラスの仲間で作り上げていくものです。これから先、小学校、中学校、高校とずっと仲間と関わり合って生活していきます。その最初のスタート。早い遅い、上手下手より最後までみんなでやり遂げることを経験させていきましょう。

ケース 01

1列に さっと並んでほしいとき

園全体で整列するときや、運動会のときなど、1列にさっと並んでほしいもの。でも子どもたちは後ろを向いたり横に並んだり。どう指導すればいいのでしょうか？

「ちゃんと並びなさい!」

「ちゃんと」は、家庭で保護者に言われ続けている言葉。具体的な導きではないので、子どもの心に届きません。

子どもの思い



また「ちゃんと」だ。
もう聞き飽きたよ。



なぜNGなの？

「ちゃんと並ぶ」では、説明が不十分。
具体的でわかりやすい表現で

ただ漠然と、「ちゃんと並びなさい」とだけ繰り返しても、子どもたちはとまどうばかり。具体的な目安がないので自分の前の子が列からずれていれば、もうどこに並んでいるのかわからなくなります。保育者は、ただ前から声をかけるだけでは、子どもに届かないのです。

これも

NG

「早く並びなさい!」

この言葉も同様、子どもたちの心を焦らせるだけで、並び方を導くものではありません。

ゲームの技 /

遊び感覚で楽しみながら並ぶ

STEP 1 身近な言葉で、列になることを話す

STEP 2 ゲーム感覚で、楽しみながら並ぶ

STEP 3 ゆっくりと歩いて見渡す

「10数えるうちに
汽車ぽっぽになろう!」

並び方のコツを具体的に示しながら、ゲームを楽しむような口調で元気よく声かけします。

子どもの思い



ゲーム楽しそう!
早くしよう!

OK



汽車ぽっぽね!



▶ うまいく指導のコツ

まんべんなく見渡しながらかけを

前から声をかけるだけでなく、後ろの方にも行ってみることが大切です。その上で、前の人の肩を持って汽車のように並び、できたら手を離すことを伝えます。さらに、前の子の頭を見て並ぶことも話し、先頭の保育者から顔が見えている子は、列が曲がっていることも話しましょう。

うまく
いかなかった時

子どもたち同士で
確認し合う

列が乱れてしまったら、うまく並べなかったときは、列を前後で2等分して、お互いに見せ合いながら、練習するとよいでしょう。前の子の頭をみながら、ちゃんと並べている子を見本にするのもわかりやすいです。